

「女性活躍推進に関する意識調査」について

1. 調査の目的

就労をはじめとする女性の社会参画に関する意識や実態を把握し、「奈良県女性の輝き・活躍促進計画（第3次奈良県男女共同参画計画）（平成28年度～令和2年度）」における施策効果の検証を行うとともに、新たな計画策定の基礎資料として活用する。

2. 調査の内容について

- (1) 調査地域：奈良県全域（全市町村）
- (2) 調査方法：郵送法
調査票の返送先は奈良県福祉医療部こども・女性局女性活躍推進課
- (3) 調査時点：令和元年9月1日
- (4) 調査時期：令和元年9月12日～9月27日
- (5) 調査対象：県内に居住する満20歳以上の男女3,500人
(男性1,750人、女性1,750人)
- (6) 抽出方法：県内の推計人口に基づき、3,500人を全市町村に比例配分し、市町村別に系統抽出法により無作為抽出。
- (7) 設問数：30問（自由記述数問を含む。年齢層・性別等に関する設問を除く）

【設問例】

- ・男女の家庭や地域における役割分担意識
- ・「仕事」「家庭生活」等の理想と現実（ワーク・ライフ・バランス）
- ・再就職する女性の意識（不安に思うこと・働くにあたって重視すること）

奈良県

女性活躍推進に関する意識調査

ご協力をお願い

秋涼の候、県民の皆さまにおかれましてはご清祥にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

県では、家庭、地域、社会生活における女性の活躍推進に関する意識等を把握し、男女が共にいきいきと活躍するための施策を検討する基礎資料を得ることを目的に本調査を実施いたします。

この調査は、県内にお住まいの満20歳以上の方の中から無作為抽出により実施しておりますが、このたび、あなた様を調査対象者として選ばせていただきました。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本県の今後の施策を考えるうえで大変重要な調査となりますので、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

ご回答いただいた内容につきましては、上記目的以外に使用することは一切なく、内容が他にもれることは絶対にありません。

どうぞ、安心してありのままをお答えいただきますよう、重ねてお願いいたします。

令和元年9月

奈良県知事 荒井 正吾

お問合せ先

奈良県福祉医療部こども・女性局 女性活躍推進課 TEL:0742-27-8679

[記入上のお願い]

- 1 この調査票は、20歳以上の方に女性活躍推進や男女共同参画について答えていただくためのものです。この調査は、郵送させていただいた封筒のあて名の方ご自身で記入してください。封筒のあて名の方がいらっしゃらない場合は回答いただく必要はございません。
- 2 令和元年（2019年）9月1日時点の現況を、ご記入ください。
- 3 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なこと~~が~~らを書き込むものがあります。
- 4 回答後の調査票は同封の返信用封筒に入れ、9月27日（金）までにご投かんください。（調査票や封筒には氏名を書かず無記名でお願いします）
- 5 なお、この設問は、全国との調査比較や本県での経年比較を可能とするため、それらの調査と設問の文言を合わせています。そのため、一部なじみにくい表現もありますが、ご理解ください。

☆調査に記載している「夫」「妻」の表現は、婚姻届の提出の有無にかかわらず、便宜上結婚している男性を「夫」、結婚している女性を「妻」と記載しています。

問1 あなたの就業状況についてうかがいます。

配偶者がいらっしゃる場合、分かる範囲であなたの配偶者についてもお答えください。

(○はそれぞれ1つずつ)

※収入は、自営業の場合には売上金額、会社員や公的年金収入の方の場合には源泉徴収額(所得税等)や社会保険料等を差し引く前の額で、源泉徴収票の支払金額欄に記載されている額です。

①あなたは

- a. 働いている
- b. 働いていない

<以前はいかがでしたか>

- 1. 以前は働いていた
- 2. 働いた経験はない

②配偶者は

- c. 働いている
- d. 働いていない

<以前はいかがでしたか>

- 1. 以前は働いていた
- 2. 働いた経験はない

あなたと配偶者の就業形態は次のうちどれにあてはまりますか (○はそれぞれ1つずつ)

①で「a. 働いている」と回答された方のみお答えください

②で「c. 働いている」と回答された方のみお答えください

新

③-1 あなたの就業形態は

結婚・子育て実態調査より

- 1. 正規職員
- 2. パート・アルバイト
- 3. 派遣・嘱託・契約社員
- 4. 自営業主・家族従事者(起業も含む)
- 5. 内職
- 6. その他()

新

④-1 配偶者の就業形態は

結婚・子育て実態調査より

- 1. 正規職員
- 2. パート・アルバイト
- 3. 派遣・嘱託・契約社員
- 4. 自営業主・家族従事者(起業も含む)
- 5. 内職
- 6. その他()

新

③-2 あなたの年間の収入※は

結婚・子育て実態調査より

- 1. 100万円未満
- 2. 100～200万円未満
- 3. 200～300万円未満
- 4. 300～400万円未満
- 5. 400～600万円未満
- 6. 600万円以上

新

④-2 配偶者の年間の収入※は

結婚・子育て実態調査より

- 1. 100万円未満
- 2. 100～200万円未満
- 3. 200～300万円未満
- 4. 300～400万円未満
- 5. 400～600万円未満
- 6. 600万円以上

新

③-3 あなたの通勤時間(片道) _____ 時間 _____ 分程度

結婚・子育て実態調査より

新

④-3 配偶者の通勤時間(片道) _____ 時間 _____ 分程度

結婚・子育て実態調査より

新

③-4 あなたの勤務地はどちらですか

- 1. 自宅
- 2. 居住市町村(自宅外)
- 3. 奈良県内(居住していない市町村)
- 4. 奈良県外

新

④-4 配偶者の勤務地はどちらですか

- 1. 自宅
- 2. 居住市町村(自宅外)
- 3. 奈良県内(居住していない市町村)
- 4. 奈良県外

進路選択について

すべての方にかがいます。

新 問 2-1 あなたは、職業・進路について何から影響を受けましたか。それぞれの時期において影響を受けた人や物を3つまで教えてください。(各時期につき○は3つまで)

国(多)

	1 父親	2 母親	3 兄弟姉妹	4 その他の家族・親族	5 友人や先輩	6 学校の先生	7 塾や習い事など、学校以外での先生	8 学校での職場体験	9 学校外での体験	10 本、テレビ、インターネットで知った情報	11 その他、自分で調べた情報	12 その他()	13 大学・短大・専門学校へ進学していない／就職したことはない
(1) 大学・短大・専門学校への進学時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
(2) 就職時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

新 問 2-2 あなたは、自分の最終学歴となる学校の選択について満足していますか。(○は3つまで)

国(多)

1. 満足している
2. より就職に有利な学校に通いたかった
3. 自分の好きな学校・学科に通いたかった
4. 地元から離れた学校に通いたかった
5. より上位の学校に進学したかった

(例:最終学歴が高等学校なら大学、大学なら大学院などに進みたかったなど)

6. もっと早く就職したかった
7. その他の理由で不満がある(理由:)

問 2-2 で2～5を選んだ方にかがいます。

新 問 2-3 あなたが満足できる進路選択ができなかった理由は何ですか。主な理由を3つまで選択してください。(○は3つまで)

国(多)

1. 自分の学力が足りなかったから
2. 経済力が十分でなかったから
3. 家族が進学先(学校・学科)について反対したから
4. 自分の性別を理由にあきらめたから
5. 希望する進路が実家から遠かったから
6. 家族の事情(介護等)であきらめざるをえなかったから
7. 学校の進路指導で反対されたから
8. その他()

仕事と生活のバランスについて

すべての方にうかがいます。

問 3-1 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

※「家庭生活」・・・家族と過ごすこと、家事(食事の支度・片付け、掃除、洗濯、買い物等)、子育て、介護・看護など

「地域・個人の生活」・・・地域活動(ボランティア活動、社会参加活動、交際・つきあいなど)・学習・研究(学業も含む)、趣味・娯楽、スポーツなど

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

前回

国(企)

問 3-2 あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

前回

国(企)

新

問 3-3 あなたの「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」のそれぞれの満足度を教えてください。

国(企)

(○はそれぞれ1つずつ)

※「仕事」については、現在仕事をしていない場合は、その状況についての満足度をお答え下さい。

※「家庭生活」については、一人で生活しておられる方は、その状況も含めてお考え下さい。

※「地域」には、地域での近所づきあいやスポーツ・趣味の活動、社会貢献活動等を含めてお考え下さい。

	1	2	3	4	5
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
(1) 仕事	1	2	3	4	5
(2) 家庭生活	1	2	3	4	5
(3) 地域・個人の生活	1	2	3	4	5

女性の生き方について

すべての方にうかがいます。

問 4-1 あなたの考える、最も望ましいと思われる女性の生き方は、どれに近いですか。(○は1つ)

1. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
2. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ
3. 結婚し子どもを持つが、仕事を持たない
4. 結婚し子どもを持つが、仕事を続ける
5. 結婚し子どもは持たず、仕事を持たない
6. 結婚し子どもは持たず、仕事を続ける
7. 結婚せず、仕事を持たない
8. 結婚せず、仕事を続ける
9. その他(具体的に)

前回

上記問 4-1 の項目について、女性の方、または配偶者のおられる男性の方に改めてうかがいます。

問 4-2 現在及び今後見込まれると思われるあなた(あなたが男性の場合は配偶者)の生き方は、どれに近いですか。上記問4-1の1~9の番号から1つ選び、括弧内に選んだ番号を記入してください。()

前回

「仕事」に関する考えについて

問5は、現在働いている方（問1（1ページ）で「a. 働いている」と回答された方）にうかがいます。現在お仕事をもちでない女性の方は問6（6ページ）へ、現在お仕事をもちでない男性の方は問9-1（9ページ）へお進みください。

新 問 5-1 あなたの働き方についてうかがいます。以下(1)～(16)のそれぞれの項目についてどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで下さい。（○はそれぞれ1つずつ）

国(企)

	1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらともいえない	4 あまりそう思わない	5 そう思わない
(1) 通勤時間が長い	1	2	3	4	5
(2) 労働時間が長い	1	2	3	4	5
(3) 残業のある日が多い	1	2	3	4	5
(4) 都合のよい時間に働くことができる	1	2	3	4	5
(5) 深夜の時間帯に働くことが多い	1	2	3	4	5
(6) 土日や祝日に働くことが多い	1	2	3	4	5
(7) 休みが少ない	1	2	3	4	5
(8) 休暇が取りにくい	1	2	3	4	5
(9) 給料や報酬が少ない	1	2	3	4	5
(10) 雇用や就労が安定していない	1	2	3	4	5
(11) 自分の意欲や能力を十分に活かせる	1	2	3	4	5
(12) 転勤の可能性がある	1	2	3	4	5
(13) 仕事や生活が組織に縛られている	1	2	3	4	5
(14) 家事・育児・介護などとの両立がしやすい	1	2	3	4	5
(15) 配偶者の仕事の状況や収入に合わせて、自分の仕事を調整している	1	2	3	4	5
(16) 現在の主な仕事をしつつ、他の仕事もしてみたい (副業・兼業など)	1	2	3	4	5

新 問 5-2 あなたの職場の様子についてうかがいます。次の(1)～(7)の項目があてはまるかどうか、それぞれ1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

国(企)

※雇用者のない個人事業主やフリーランスで働いている方は、ご自身や仕事仲間、取引先の状況を想定してお答え下さい。

	1 あてはまる	2 まああてはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 あてはまらない	6 わからない
(1) 従業員のワーク・ライフ・バランスが配慮されている	1	2	3	4	5	6
(2) 結婚や育児、介護等を理由に仕事を辞める人が多い	1	2	3	4	5	6
(3) 男女ともに活躍ができる	1	2	3	4	5	6
(4) 労働時間を適切に管理している	1	2	3	4	5	6
(5) 休暇の取得状況を適切に管理している	1	2	3	4	5	6
(6) 長く働くことよりも、効率よく働くことがよしとされる	1	2	3	4	5	6
(7) 顧客や取引先のワーク・ライフ・バランスを配慮している	1	2	3	4	5	6

新 問 5-3 あなたは現在の就労形態や働き方を変えたいと思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

国(企)

※「就労形態」は、正社員や契約社員、パート、アルバイトなどの雇用形態のほか、会社経営や個人事業主、フリーランス等、就労のあり方のことをいいます。

	1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらともいえない	4 あまりそう思わない	5 ない そう思わない
(1) 就労形態を変えたい	1	2	3	4	5
(2) 働き方を変えたい	1	2	3	4	5

問 6 は現在お仕事をもちでない女性の方にうかがいます。
それ以外の方は問 9-1 (9ページ) へお進みください。

新 問 6 あなたは、今後就労を希望されていますか。(○は1つ)

1. すぐにでも、もしくは1年以内くらいに就労したい
2. 1年より先で、就労したい
3. 就労を希望していない

問 8 (8ページ) へ

新 問 7-5 あなたが働くにあたって、重視することは何ですか。次の中からあてはまるもの上位3つを選び、右の回答欄に番号を記入してください。

H30横浜市「女性の就業ニーズ調査」を元に新規作成(比較不可)

1. 通勤時間
2. 収入
3. 休暇が取りやすいこと
4. 土日祝日出勤がないこと
5. 残業が少ない、または残業がないこと
6. 勤務時間が柔軟である(シフトの自由度など)こと
7. 取得している資格や経験を発揮できる業務に従事できること
8. 長期間働き続けられること
9. 責任のある仕事を任せてくれること
10. 社内研修などスキルアップの機会が充実していること
11. その他()

回答欄		
一番目	二番目	三番目

新 問 7-6 あなたは、あなたが働いて得られる収入を主に何に利用する予定ですか。(○は1つ)

子ども・子育て実態調査結果を深掘りするため、全く新規で質問項目を作成(比較不可)

1. 生活費に充当する
2. 住居や車の購入費用に充当する(住宅ローンの返済等を含む)
3. 貯蓄する(病気、老後等に備える)
4. 自らの趣味等の費用に充当する
5. 子どもの教育費(塾・習いごと等の費用)に充当する
6. その他()

問 6 (6ページ)で「3. 就労を希望していない」と回答した女性の方にうかがいます。それ以外の方は問 9-1 へお進みください。

新 問 8 あなたが今後、就労を希望されていないのは、どのような理由からですか。次の中から最大の理由、第二の理由、第三の理由をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

H30横浜市「女性の就業ニーズ調査」を参考に新規作成(比較不可)

1. 夫や家族等の収入で生活ができるから
2. 地域活動、PTA活動、ボランティアなどをやりたいから
3. 家事・育児・介護などに専念したいから
4. 家事・育児・介護などと両立する自信がないから
5. 就職・再就職について夫や家族の理解がないから
6. 長時間労働のため、夫が家事・育児・介護などを分担できないから
7. 単身赴任などのため、夫が家事・育児・介護などを分担できないから
8. 夫が家事・育児・介護などを分担してくれないから(理解がない、意識に欠ける)
9. 自分の仕事をする能力等に自信がないから
10. 職場の人間関係が不安だから
11. 高齢のため
12. その他()

回答欄		
最大の理由	第二の理由	第三の理由

男女の地域や家庭における役割等について

すべての方にうかがいます。



問 9-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対

新 問 9-2 次の(1)～(6)のことがらについて、どのように思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ) ※該当するものがなければ6を選択してください。

H26大
阪府
「男女
共同参
画に関
する府
民意識
調査」を
参考に
新規作
成(比
較不可)

	1 主に 男性の 役割	2 どちらか といえば 男性の 役割	3 両方 同じ 程度の 役割	4 どちらか といえば 女性の 役割	5 主に 女性の 役割	6 いずれ にも 該当 しない
(1) 日常の家事(食事の支度・洗濯、掃除)	1	2	3	4	5	6
(2) 乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6
(3) 子どもの教育としつけ、学校行事	1	2	3	4	5	6
(4) 老親や病身者の介護や看護	1	2	3	4	5	6
(5) 自治会、町内会など地域活動への参加	1	2	3	4	5	6
(6) 自治会、町内会、学校関係の役員	1	2	3	4	5	6

新 問 9-3 次の(1)～(6)のことがらについて、あなたのご家庭における現状に最も近いものはどれですか(項目は問 9-2 と同内容)。(○はそれぞれ1つずつ) ※該当するものがなければ6を選択してください。

H26
大
阪府「男
女共
同参
画に
関する
府民
意識
調査」
を参考
に新
規作
成(比
較不可)

	1 主に 男性の 役割	2 どちらか といえば 男性の 役割	3 両方 同じ 程度の 役割	4 どちらか といえば 女性の 役割	5 主に 女性の 役割	6 いずれ にも 該当 しない
(1) 日常の家事(食事の支度・洗濯、掃除)	1	2	3	4	5	6
(2) 乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6
(3) 子どもの教育としつけ、学校行事	1	2	3	4	5	6
(4) 老親や病身者の介護や看護	1	2	3	4	5	6
(5) 自治会、町内会など地域活動への参加	1	2	3	4	5	6
(6) 自治会、町内会、学校関係の役員	1	2	3	4	5	6

新 問 9-4 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

	1	2	3	4	5	6
	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
(1)家庭生活	1	2	3	4	5	6
(2)大学等への進学	1	2	3	4	5	6
(3)職場	1	2	3	4	5	6
(4)学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(5)政治の場	1	2	3	4	5	6
(6)法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
(7)社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(8)自治会やPTAなどの地域活動の場	1	2	3	4	5	6

新 問 9-5 あなたが生まれてから18歳になるまでの、あなたの母の就労状況で最も近いものはどれですか。(○は1つ)

※あなたの記憶するかぎりでお答えください。

1. 主にフルタイムで働いていた
2. 主にアルバイト・パートとして働いていた
3. 主に働いていなかった(家事・子育て等に専念していた)
4. 主に家業を手伝っていた
5. どれにもあてはまらない

社会活動について

新 問 10-1 あなたは、あなたが住んだり、働いたりしている地域社会に対して、ボランティア等を通じた社会参加をしていますか。「社会参加」には、地域での近所づきあいやスポーツ・趣味の活動、社会貢献活動等を含めてお答えください。(○は1つ)

1. 社会参加をしている
2. 社会参加に関心があるが、していない
3. 社会参加に関心がない
4. わからない

問 10-2 あなたは、どのような活動を通じて社会に役立ちたいと思いますか。次の(1)～(15)の中から
 ①これまでにに行ったことのある活動、また、②今後行いたい活動について、それぞれお答えください。(○はそれぞれいくつでも)

前回

	① これまでに行った ことのある活動	② 今後行いたい活動
(1) 青少年健全育成に関する活動(ボーイスカウト・ガールスカウト活動、子ども会など)	1	1
(2) 体育・スポーツ・文化に関する活動(スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など)	2	2
(3) 自主防災活動や災害援助活動	3	3
(4) 公共施設での活動(公民館における託児、博物館の展示説明員など)	4	4
(5) 人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道など)	5	5
(6) 国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、技術援助、留学生援助など)	6	6
(7) 社会福祉に関する活動(高齢者や障害者などに対する介護、身の回りの世話、給食、保育など)	7	7
(8) 保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティアなど)	8	8
(9) 自然・環境保護に関する活動(環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など)	9	9
(10) 交通安全に関する活動(子どもの登下校時の安全監視など)	10	10
(11) 募金活動、チャリティーバザー	11	11
(12) 町内会などの地域活動(お祝い事や不幸事などの手伝い、町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など)	12	12
(13) 家事や子どもの養育を通じて	13	13
(14) 自分の職業を通じて	14	14
(15) その他(具体的に)	15	15

今後必要な施策等について

問 11-1 男女がともに、仕事と家庭の両立を実現するために必要なことは何だと思いますか。(○は3つまで)

前回

1. 給与などに関する男女間格差をなくすこと
2. 労働時間を短縮すること
3. 育児休業・介護休業中の代替要員の確保など、気がねなく制度を利用できる職場環境をつくること
4. 育児休業・介護休業を利用した者が、職場で不利な扱いを受けることのない体制をつくること
5. 子育てや介護のために退職した社員を元の会社で再雇用する制度を導入すること
6. 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給付を充実すること
7. 事業所内の保育施設を充実すること
8. 地域の保育施設や、保育時間の延長など保育内容を充実すること
9. 職業上必要な知識・技術など社員教育が充実すること
10. パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること
11. 在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度など、柔軟な勤務制度を導入すること
12. 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること
13. その他(具体的に)

問 11-2 女性が職場で活躍するために必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

前回

1. 組織のトップが女性の活躍の促進に積極的であること
2. 職場の上司・同僚が、女性が働くことについて理解があること
3. 子育て・介護との両立についての職場の支援制度が整っていること
4. 職場で長時間労働の必要がないこと、勤務時間が柔軟であること
5. 身近に活躍している女性がいること
6. 仕事が適正に評価されること
7. 仕事の内容にやりがいがあること
8. その他(具体的に)

問 11-3 男女がともに活躍できる奈良県にするために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○はいくつでも)

前回調査の項目を一部修正(比較不可)

1. 政策決定の場に女性を積極的に登用する
2. 企業の意識改革(管理職への女性の登用や、多様で柔軟な働き方の推進)
3. 社会の意識改革(『男はこうあるべき、女ならこうすべき』といった固定的な性別役割分担意識の払しょく)
4. 政治分野や、従来、女性が少なかった分野(研究者等)への女性の進出等を支援する
5. 保育の施設・サービスや放課後児童クラブを充実する
6. 高齢者等の福祉施設や介護サービスを充実する
7. 男性の積極的な家事・子育て参画の促進
8. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
9. 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
10. その他(具体的に)
11. 特にない

最後に、あなたご自身のことについて

すべての方にうかがいます。

問 12-1 あなたの性別は ※あなたが認識しているご自分の性別を選んでください

1. 男性
2. 女性

問 12-2 あなたの年齢はおいくつですか

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 20～24 歳 | 5. 40～44 歳 | 9. 60～64 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 6. 45～49 歳 | 10. 65～69 歳 |
| 3. 30～34 歳 | 7. 50～54 歳 | 11. 70 歳以上 |
| 4. 35～39 歳 | 8. 55～59 歳 | |

問 12-3 あなたのご家庭の世帯構成は次のうちどれですか

1. 一人暮らし
2. 一世代世帯(夫婦だけ)
3. 二世帯世帯(親と子)
4. 三世帯世帯(親と子と孫)
5. その他の世帯(具体的に)

問 12-4 あなたは、結婚(婚姻の届出のない事実婚を含む)されていますか

1. 未婚
2. 結婚している
3. 結婚していた(配偶者と離婚・死別等)

問 12-5 ① あなたは、お子さんが何人おられますか(別居を含む)

人

② お子さんがおられる場合、一番下のお子さんは、次のうちどれにあてはまりますか

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 3歳未満 | 5. 高校生 |
| 2. 3歳以上就学前 | 6. 大学生、専門・専修学校生 |
| 3. 小学生 | 7. それ以外 |
| 4. 中学生 | |

問 12-6 あなたのお住まいは、どちらですか






- | | | | | | |
|----------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 1. 奈良市 | 8. 御所市 | 15. 三郷町 | 22. 御杖村 | 29. 吉野町 | 36. 下北山村 |
| 2. 大和高田市 | 9. 生駒市 | 16. 斑鳩町 | 23. 高取町 | 30. 大淀町 | 37. 上北山村 |
| 3. 大和郡山市 | 10. 香芝市 | 17. 安堵町 | 24. 明日香村 | 31. 下市町 | 38. 川上村 |
| 4. 天理市 | 11. 葛城市 | 18. 川西町 | 25. 上牧町 | 32. 黒滝村 | 39. 東吉野村 |
| 5. 橿原市 | 12. 宇陀市 | 19. 三宅町 | 26. 王寺町 | 33. 天川村 | |
| 6. 桜井市 | 13. 山添村 | 20. 田原本町 | 27. 広陵町 | 34. 野迫川村 | |
| 7. 五條市 | 14. 平群町 | 21. 曾爾村 | 28. 河合町 | 35. 十津川村 | |

【自由記述】 女性活躍および男女共同参画について、ご意見等がありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

回答後の調査票は同封の返信用封筒に入れ、令和元年9月27日(金)までにご投かんください。(調査票や封筒には氏名を書かず無記名でお願いします)

【各アイコンの意味について】

-  新 今回の調査から新たに追加された項目
-  前回 前回調査（女性の社会参加に関する意識調査（奈良県、H26））と同じ質問。経年比較可。
-  国(多) 多様な選択を可能にする学びに関する調査（内閣府、H30）と同じ質問。全国比較可。
-  国(企) 企業等における仕事と生活の調和に関する調査（内閣府、H30）と同じ質問。全国比較可。
-  国(世) 男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府、H28）と同じ質問。全国比較可。

※他の調査と比較できない調査項目は、参考にした調査名等を赤枠内に記載(結婚・子育て実態調査、他府県の調査項目等)

